



ニューズレター

Vol. 30 - No. 5
2018年9月-10月

デジタルコンサルタント
Rick Sinclair(リック)
Curtis Jeung(カーティス)

最新ソフトウェア情報

Current Central Station 3 Version - 1.3.3(1)

Current Central Station 2 Version - 4.2.1(0)

Current Mobile Station 2 Version - 2.7

前回のニューズレターの後、私たちはミズーリ州カンザスシティで開催されたNMRA National Train Showに参加し、5種類すべてのスケールの多種多様な製品を展示し、デジタルシステムのデモを行いました。

カリフォルニア州ペリスで開催された大きなイベントで、LGBの50周年を祝いました。MärklinUSAのスタッフ全員が出席し、輸出部長のJanko Franke氏がイベントのためにドイツから訪れました。オレンジ帝国鉄道博物館で開催されました。LGB車両を運転するCS3のデモを行い、LGB製品の巨大なディスプレイを展示しました。フランケ氏は、LGBの歴史的記念モデルの大規模な展示を手配しました。博物館のスタッフとボランティアは、参加者をトロリーに乗せたり、列車で町を往復させたりしました。

本物のグリズリー・フラッツ・クロエ機関車とワード・キンボール・コレクションの車両が機関庫に展示されていました。クロエ修復プロジェクトの資金調達のために、ラッフルとサイレントオークションが開催されました。In-N-Out バーガーが提供され、夜はLGB 50周年ロゴのカップケーキで締めくくられました。みんな楽しい時間を過ごしました！

いくつかのショーや販売店内イベント等、秋のイベントの準備をしています。9ページの「今後の出展予定」リストを確認して下さい。

今号では、新しい“Start up(スタートアップ、旧称ホビー)”グレードの踏切を紹介し、前回のニューズレターの古い踏切と比較します。リックはわずかな違いを説明し、新しい踏切で予想外の驚きを見つけます。

2番目の記事では、最近のCS3アップデート/バージョン1.3.3(1)について説明します。カーティスは、この更新の重要な変更と利点について説明します。

新しい踏切

私の前回の記事では、子供の頃からの古い7292踏切を、どのように回路を分離し、警告灯用のフラッシャーユニットとともにm84に接続したかを詳しく説明しました。プロジェクトを完了した後、新しい踏切 72943の仕組みを知りたいと思いました。新しいものを注文したらすぐに届いたので、古いものと比較しながら、続けて書くことができました(図1)。



図1 - 最新の踏切 72943

72943踏切は、古い7292M / 7292Kと同じ原理で動作します。これは、絶縁されたレールがあり、機関車/客貨車の車輪が回路を閉じて、踏切を作動させることを意味します。

Märklinが行ったことは、回路基板を加えて機能を向上しました。回路基板を示すためにカバープレートを取り外しました(図2/3)。注:通常は、このカバーまたは回路基板を取り外す必要はありません。

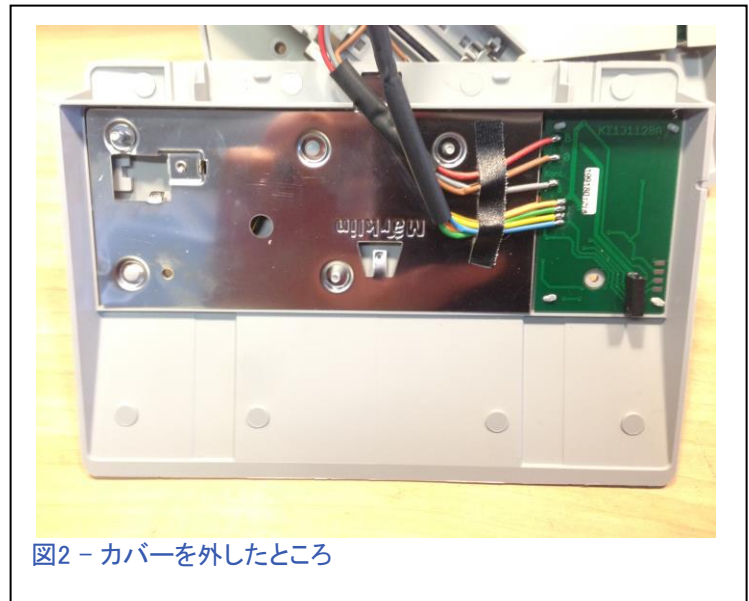


図2 - カバーを外したところ

このボードは警告灯とバーの両方を制御します。単純なインストールでも、踏切は正常に機能します。機関車の車輪がユニットを起動し、シーケンスが開始されます。最後の客貨車は絶縁レールを離れ、シーケンスを終了します。

警告灯が点灯し、交互に点滅します(私と同じ考えです!) また、電磁石を長期間オンにしても過熱状態にならないことに気がきました。これは、私の古い踏切では常に懸念事項でした。これらはすべて、レール電力を使用してもうまく機能し、デジタル干渉によりバーがジャンプしたり、警告灯がちらついたりすることはありませんでした。



図3 - 回路基板

もう一つの便利な機能は、最後の客貨車がコンタクトレールを離れても、作動停止まで少し遅れることです。これは、車輪またはレールがわずかに汚れていても、最後の客貨車がコンタクトレールを離れるまでユニットが作動したままになることを意味します。

m84 との接続

このユニットは非常にうまく機能するため、m84によりデジタル制御化できるかを確認することにしました。グレーのワイヤをm84の緑出力に接続し、同じポートの中央入力に“0”のフィーダー線(茶線)を接続するだけです。そこからは、イベントスクリプトで踏切を作動させるだけです(図4)。

所見

前回のモディファイした7292踏切と今回の74923踏切との唯一の違いは、前者は警告灯とバーを回路を分離しているの、異なったタイミングで起動できることです。

ただ、この新しい踏切でも、警告灯点灯とバーの降下に、わずかに遅れがあります。そのため、古い踏切を修正する作業量を考えると、この新しいユニットを入手する価値は十分にあります。

私が最後に気づいたのは、見苦しいクリップ端子がバー支柱の横にないことです。これがないと非常にクリーンで実感的なので、これを見てうれしかったです(図5)。

保守とスペアパーツ

このユニットは古いものと同じくらい壊れやすいです。これはMärklinのスタートアップラインの製品であるため、子供がいる家で使用される可能性があります、バーが壊れる可能性があります。

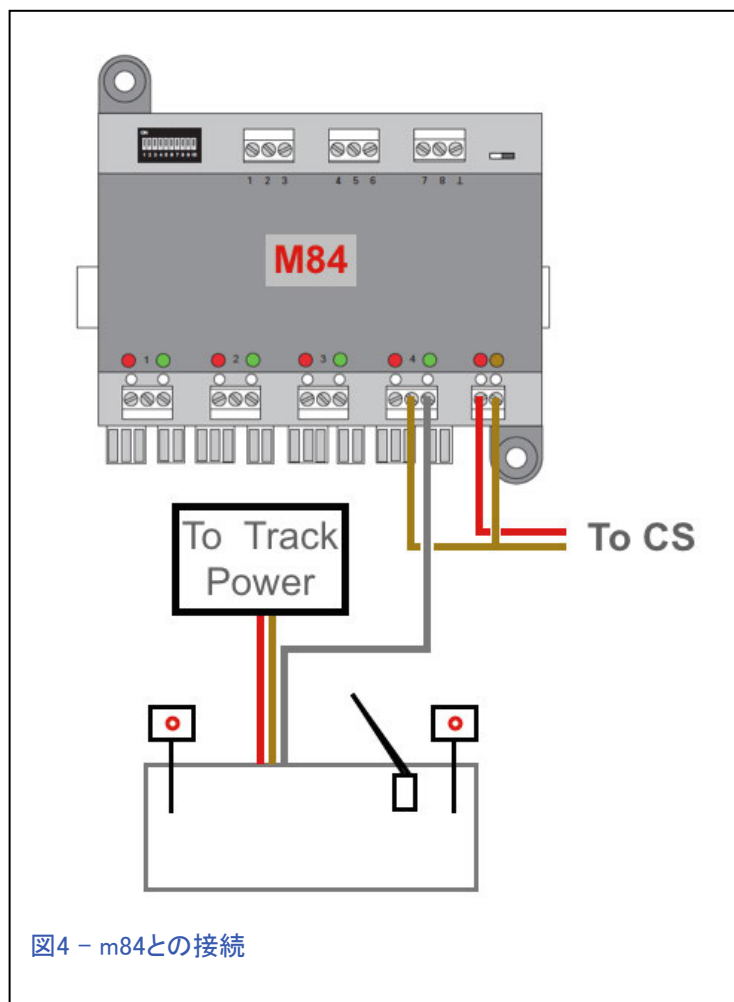


図4 - m84との接続



図5 - クリップ端子がなくなりました

バーが壊れた場合に備え、Märklinは補修部品として注文するための部品番号(E412700)を示しています。これはマニュアルの裏にあります。

残念ながら、この新しい踏切用の警告支柱の部品番号はありませんが、品番E412660の古い7292踏切用はまだあります。この警告支柱が新しい踏切で使えるかどうかわかりませんが、注文したものが来たら試してみて報告します。

Enjoy your hobbies!

Rick Sinclair (リック)

CS3 Update 1.3.3(1)

前回の記事 - デジタルニュースレター(2018年第30巻、第4号) - では、CSをパーソナルコンピュータに接続する方法について説明しました。ニュースレター配信の時点で、MärklinはCS3/3plus用のソフトウェアアップデート/バージョン1.3.3(1)をリリースしていました。この記事では、この更新に含まれる重要な変更について説明します。改善の1つは、パソコンに接続する方法の追加です。もう1つの改善点は、CS3のイベントスクリプト機能が強化されたことです。

要約すると、前回の記事で説明したパソコンへの接続は、CS2およびCS3ファミリーのすべてのバージョンに適用されます。今回の更新の、ここで説明する改善点はCS3/3 plusにのみ適用されます。注目すべき最初の変更点は、パソコンへの接続がより簡単なプロセスになったことです。この変更の次の素晴らしい内容は、CS3と接続できるのがパソコンに制限されなくなったことです。このアップデートにより、CS3をスクリーン付きのあらゆるWiFiデバイスで制御できるようになりました。つまり、スマホまたはタブレットをコントローラーとして使用できるようになりました。

この重要性は、CS2用には特別に開発されたモバイルアプリ(Mobile StationまたはMain Station)がありましたが、CS3ではアプリを必要としないことです。必要なのは、使うデバイスのWebブラウザだけです。

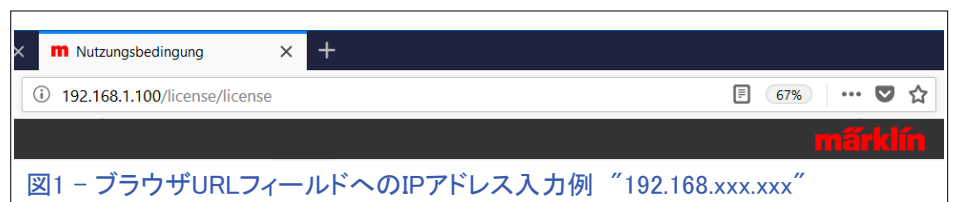


図1 - ブラウザURLフィールドへのIPアドレス入力例 "192.168.xxx.xxx"

接続プロセスに入る前に、知っておくべきことがいくつかあります。CS2アプリや前回の記事で説明した方法とは異なり、この方法ではインターネットアクセス可能なルーターが必要です。

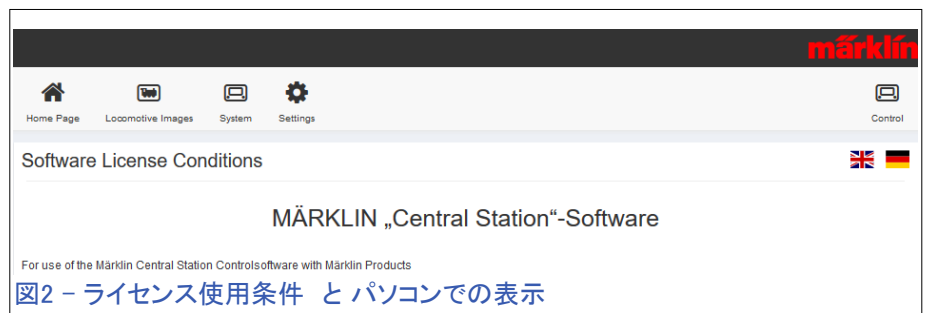


図2 - ライセンス使用条件 とパソコンでの表示

以前の方法ではインターネットアクセスを必要とせず、隔離されたネットワーク内で使用できました。しかし今回は、WiFiルーターがインターネットアクセスできない場合に問題になる可能性があります。

2番目に注意することは、これがテストリリース(ベータ版、希望した場合に試用)であることです。従って、障害、修正、更新の評価対象となります。そうだとすると、Märklinはユーザーにこの接続方法の改善に関するフィードバックを求めています。たとえば、インターネットアクセスがあるため、システムの応答が遅れる場合があることを報告しました。一方、以前のモバイルアプリでは利用できなかったレイアウト画面の表示の改善があります。

次に、CS3に接続する新しい方法について説明します。ルーターまたはWiFiルーターで使用するためのCS3の設定については、すでによく知っているはずですが、そうでない場合は、デジタルニュースレターの前号(Vol 30 No 4)を参照して下さい。これにより、CS3に割り当てられたIPアドレスを知ることができます。

ブラウザで、URLと同じようにIPアドレスを入力します(図1を参照)。表示されるページは、下部にある確認ボタンを含むライセンス使用条件です(図2)。

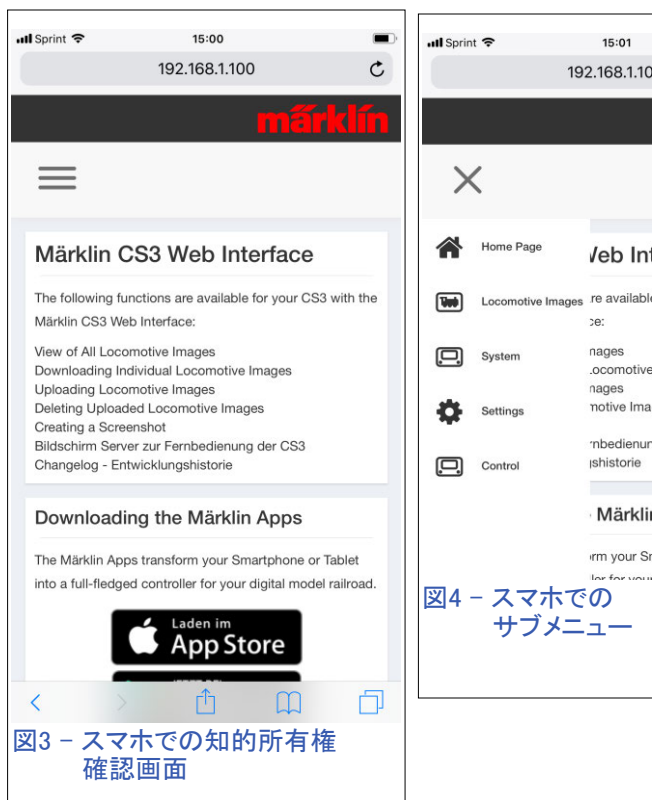


図3は、IPアドレス入力ラインと、iPhoneで使用されるライセンス条件ページのスクリーンショットを示しています。画面上端に沿って、前号に示したものと同一ボタンがあります: “Home Page (ホームページ)”、“Locomotive Images(機関車画像)”、“System (システム)”、“Settings(設定)”。画面右端に“Control(コントロール)”という新しいボタンがあります(図2を参照)。モバイルデバイスでは、サブメニューボタンとして配置されます(図4を参照)。

VNCビューアーアプリを使用せずに、コントロールボタンをクリックすればCS3にアクセスできるようになりました。デバイスには、機関車、アクセサリ、レイアウトなどのプルダウンメニューを含むCS3の全画面が表示されます。



モバイルデバイスでは、レイアウト図が表示されない場合があります。レイアウトページを表示するには、“Track Board”メニューに移動し、正方形のボタンをクリックする必要があります。通常、CS3では「目」のアイコンをクリックしますが、パソコンやモバイルデバイスでは若干異なります。(図5を参照)。



新しい先進的なスクリプト制御

新しいアップデートで見つかった2番目の主要な追加は、イベントスクリプトで「条件」を含めることが可能となったことです。以前と比較すると、ルート(CS2)・イベント(CS3)の起動方法は同じで、s88コンタクトを使用して、在線かまたは空きかに基づいてスクリプトを起動できます。今回のCS3アップデートには、ポイントの分岐方向と信号機の現示に基づいて、イベントスクリプトを継続するか、そこで終了するかを選択する機能が含まれています。ただし、この機能の使用は高度な設定と見なされるため、システム設定の初期状態ではそれらを利用することはできません。その設定は順を追って説明していきます。

まず、イベントスクリプトを作成し、ポイントまたは信号機イベントを追加します。これは、イベント追加ボタンをクリックするか、“Add Event(イベント追加)”を選択して行い(図6)、その後機器リストからポイント等をドラッグしてスクリプトに置きます。

既存のスクリプトの場合は、スクリプトアイコンをクリックしてイベントを開き(図7矢印1)、ポイント“W 3R”をクリックしてイベントステップ設定ウィンドウにアクセスしました(矢印2)。青い四角は、設定ウィンドウに今回新たに設けられた項目を示します。このイベントステップを“Action(アクション)”として使用するか、または“Condition(条件)”として使用するかを定めるオプションです。デフォルトでは、「アクション」として設定され、選択エリアは「グレー表示」されて選択不能になっています。「アクション」は、従来と同じ意味で、“Position(ポジション)”設定どおりにアクセサリが切り換わります。

「条件」を選択するには、最初に“System(システム)”→“System(システム)”→“CS3/CS3-1 / System(システム)”サブメニューにある新しい環境設定を変更する必要があります。図8は、その設定があるサブメニューを示しています。このサブメニューはおなじみのはずです。“Events-Advanced Mode(イベント-拡張モード)”設定が見つかるまでサブメニューを下にスクロールし、チェックボックスをクリックします(図9)。

チェックすると、“Information(情報)”ダイアログが表示され、イベントを詳細モードに設定することを通知します(図10)。情報ダイアログを確認(チェック)すると、“Events-Advanced Mode(イベント-拡張モード)”チェックボックスがオンになります。これにより、イベントステップ設定ウィンドウにおいて、オプションとして“Condition(条件)”を選択できるようになります。図11に、前述の例の“Settings W 3R”で選択できるオプションを示します。“Condition(条件)”を選択すると、条件判定後の処理として、“Delay(停止)”にするか“continue(続けます)”にするかを設定するプルダウンメニューが表示されます。これらのオプションの意味については、後段で説明します。



図7 - イベント設定ウィンドウの初期状態



図8 - システム環境設定
CS3/CS3-1/Systemサブメニュー

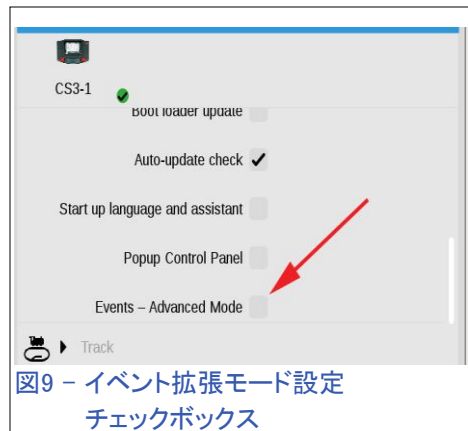


図9 - イベント拡張モード設定
チェックボックス

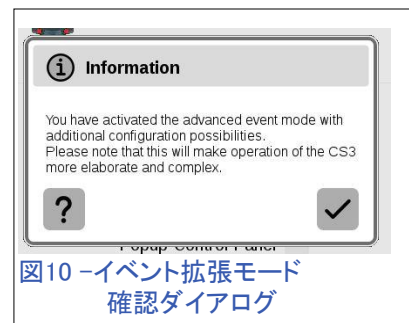


図10 - イベント拡張モード
確認ダイアログ

「条件」とは、そのイベントステップでの“Position(ポジション)”設定がアクセサリーの状態と一致するかどうかをCS3が確認するポイントです。より詳細に説明すると、図11に示す設定ウィンドウで、CS3はポイント“W 3R”の現在の分岐方向が、設定(“Position(ポジション)”ボックスに表示)と同じ状態かを確認します。CS3は、機器リストかレイアウト図のポイントの状態と照合します。これらは通常同一です(一方を切り換えると、他方も自動的に切り換わります)。



図11 - 条件設定とオプション選択

図12では、ポイント“W 3R”の状態を示しています。ご覧のとおり、直進になっており、図11で設定されている“Position(ポジション)”ボックスとは一致しません。ポイントの状態が一致しない場合、スクリプトの残りのステップがキャンセルされ、継続しません。

条件ステップの“Position(ポジション)”がアクセサリーの状態と一致すると、条件ステップに続くステップに進みますが、“Delay(停止)”または“continue(続けます)”のオプション設定が加わります。“continue(続けます)”に設定すると、次のイベントステップに進みます。“Delay(停止)”に設定した場合、上の“Delay(遅延)”欄と“Unit(単位)”欄を設定してあると、次のステップに進む前にタイミング遅延を挿入します。

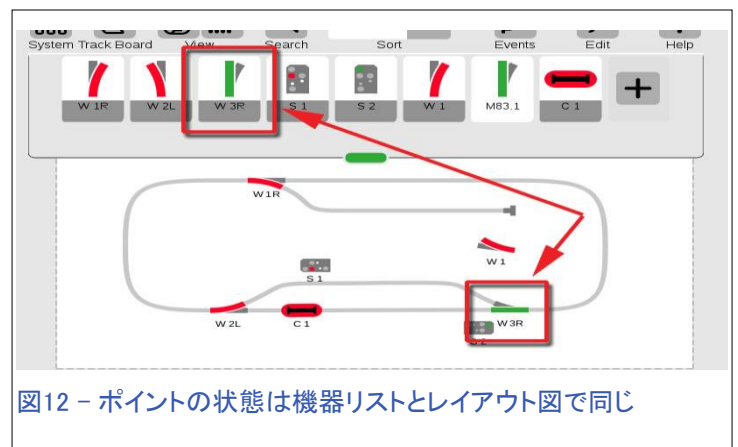


図12 - ポイントの状態は機器リストとレイアウト図で同じ

信号機を条件として使用する場合も、ポイントと同様に設定できます。遅延と継続の設定も同じです。図13では、信号機を条件とした設定を示しています。イベントステップを条件として設定すると、ステップアイコン左上に“?”が表示されます。これにより、ステップが「条件」であり表示されている現示に切り換わらないことがわかります。図では、

(下の赤い矢印の方向に向かう)列車がC1と接触すると、信号機“S1”の条件を判定します。一致する場合、ポイント“W 2L”を直進に切り換えます。

条件として信号機とポイントを使用するには、使用に関して特別な考慮が必要な場合があります。実使用前にはテストが必要な場合があります。ここに示した例は説明

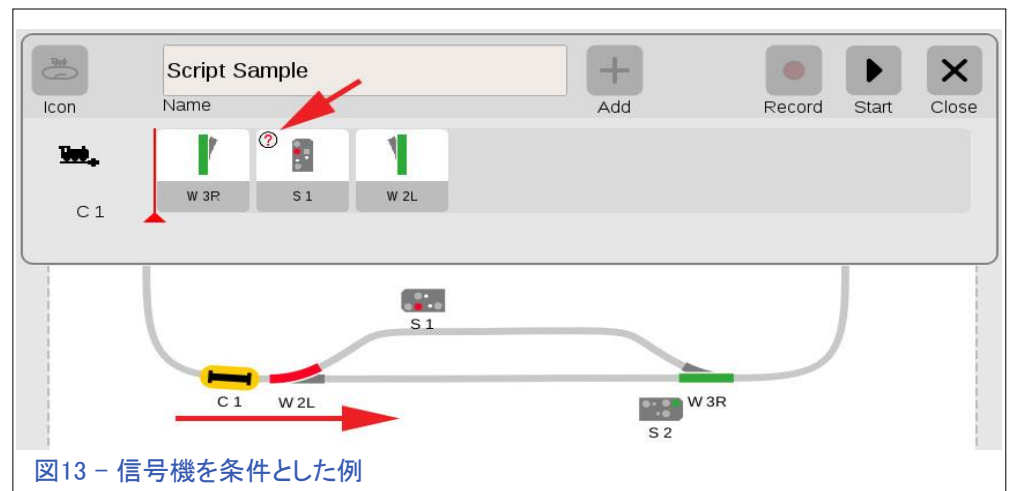


図13 - 信号機を条件とした例

用であり、実レイアウトに適用できない場合があります。通常、必要性は使用から生じ、これは皆さんが利用できる有用なールです。

注意事項

イベントスクリプトの「条件」としてポイントと信号機を使用するのは大変有用ですが、実際の操作時に注意すべき(かつ忘れやすい)重要なことがあります。これは間違いなく「条件」がうまく働かなくなりに影響します。

イベントの条件ステップの“Position(ポジション)”は、機器リストまたはレイアウト図上のアクセサリーの状態と照合されると前に述べました。ここで、比較はCS3内で行われることを覚えておくことが重要です。レイアウト上のアクセサリー自体の物理的な状態を手動で切り換えると、スクリプト条件のエラーが発生する場合があります。ポイントを手動で切り換えても、CS3に表示されるポイント状態は変更されません(レイアウト図でも機器リストでも)。ポイントを手動で切り換えても、CS3がポイント状態を表示する方法には影響しません。そのため、CS3上の状態と実際のポイントの状態が一致しません。その結果、あなたがポイントを手動で切り換えたときに、CS3が条件一致と信じて列車が衝突することがあります。これは、実行することによってのみ学習できる例の1つです。

(今、言いましたからね！)

もう1つの重要な発見は、イベントスクリプトのトリガーとしてポイントまたは信号機を設定できるという事実です。図13の例がs88コンタクト“C1”をトリガーとして使用してスクリプトを起動するように、ポイントまたは信号機をドラッグしてスクリプトを起動できることがわかりました。ただし、これを行うことは現在お勧めしません。というのは、私の個人的な意見では、この種のトリガーが役立つような用途がないためです。もう1つは、新しい設定ウィンドウがあることです。これは複雑で、さらに調査する必要があることがわかりました。この設定オプションを図14および図15に示しておきます。



図14 - ポイントをトリガーとしたイベントの設定ウィンドウ

図14では、2つの“Control(コントローラ、制御)”設定があることがわかります。最初の“Control(コントローラ)”設定には、図15に表示されるオプションがあります。残念ながら、これらをトリガー設定として適用する方法についてわかりませんでした。また、このスクリプトは、CS3起動時またはCS3が「Go」モードになった場合にアクティブになるか？などの疑問です。残念ながら、この記事に許されるよりも内容が多く、深くなる可能性があるため、今回は触れないことにしました。うまくいけば、私は今後これに光を当てることができます。

さらに、“Group(グループ)”設定があることに注意して下さい。イベントをグループに分類できるようになりました。これは、イベントを論理的に整理するのに役立ちます。たとえば、ウエストエンド駅にのみ関係するイベントがある場合、「ウエストエンド駅」グループに含めると便利な場合があります。“New...(新規...)”ボタンをクリックすると、グループ名を作成して整理できます。スクリプトを作成するときに、“Group(グループ)”プルダウンメニューを使用してスクリプトを割り当てることができます。

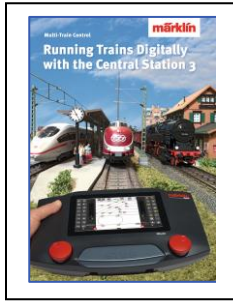


図15 - Control 設定のオプション

この記事がアップデート1.3.3(1)の新機能に興味を持って頂ける機会となれば幸いです。多くのユーザーから要求されたイベントスクリプト機能が含まれていますので。

As always, have fun!

Curtis Jeung (カーティス)



Märklin 販売店でどうぞ！

Running Trains Digitally with the Central Station 3 (CS3による列車のデジタル制御)

この本は、MärklinDigitalシステムについての多くの情報を提供します。それは新しいコントローラーであるセントラルステーション3についてのすべての重要な情報を含みます。もう一つのポイントは、新世代のデコーダーに関する説明です。さらに、デジタルレイアウトにおける、MärklinDigitalシステムのすべてのコンポーネントの使用方法に関する完全な説明が付いています。

DIN A4 フォーマット 191 ページ 英語版 #03092

今後の出展予定：

Just Trains Open House

5650 Imhoff Dr, Ste H
Concord, CA
October 7, 2018

Upland Trains Grand Opening

1531 W 13th St, Ste G
Upland, CA
October 20, 2018

Rocky Mountain Hobby-Expo

Denver Mart
451 E 58th Ave
Denver, Colorado
October 27-28, 2018

LGB Day at TrainLand

293 Sunrise Hwy
Lynbrook, New York
November 3, 2018

Trainfest

Wisconsin State Fair Park Expo Center
8200 W Greenfield Ave
West Allis (Milwaukee), Wisconsin
November 10-11, 2018

デジタル、技術、製品に関するご質問については、リックとカーティスにお問い合わせ下さい：

Phone: 650-569-1318 Hours: 6:00am - 9:00pm PT, Monday through Friday

E-mail: digital@marklin.com

Märklin Digital Club · PO Box 510559 · New Berlin WI 53151-0559